

科 目 名	書道 I	普通科必修 1年次・2単位
目 標	豊かな創造性と感性を高め、書を愛好する心情と書の文化を育てる。 表現の追究と鑑賞能力を高めることを目標とする。	
位 置 づ け	古典臨書・創作(漢字仮名交じりの書を中心として)の作品制作と、作品鑑賞などを通した内容とする。	

■使用する教材

- ・教科書（東京書籍 書道 I）・墨心
- ・書道プリント ほか

■学習する単元とおおよその時期

- ・漢字の臨書【4～6月】
- ・篆刻学習【7～8月】
- ・創作（漢字仮名交じりの書・漢字制作・
カレンダー制作）【9～12月】
- ・仮名の書【1月～3月】
- ・作品鑑賞【通年】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

- ・表現では、臨書と創作（特に漢字仮名交じりの書を中心として）実技に取り組みながら自己表現の研究に努める。
- ・鑑賞では、自己の作品を見直したり、古典や著名作家の作品を学習することにより自己表現に生かす。
- ・各分野でプリントを活用し自己批評の時間を設け、鑑賞する力をより養うとともに作品の完成度や習熟度も把握・確認する。

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 各制作分野において多様な表現を知り理解している。 古典の特徴を理解して表現の工夫ができる。	臨書・創作問わず、筆遣いや空間質を深く追究し、創造的かつ豊かな表現ができる。	作品制作の喜びを深く味わい、多様な表現技法や書道文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞等の創造活動に取り組んでいる。
	B 各制作分野において多様な表現を知ろうと心掛けている。 古典の特徴を理解して表現しようとしている。	表現方法を工夫し、筆遣いや空間等を自ら考え表現できる。	作品制作の喜びを味わい、表現技法や書道文化に関心を持ち、表現や鑑賞等の創造活動に取り組んでいる。
	C 上記が達成できていない。	上記が達成できていない。	上記が達成できていない。
評価の場面	作品の完成度とプロセス プリント等の提出内容	作品の完成度と上達度 プリントや作品制作の取り組み・充実度	授業中の参加態度 作品やプリントの提出状況